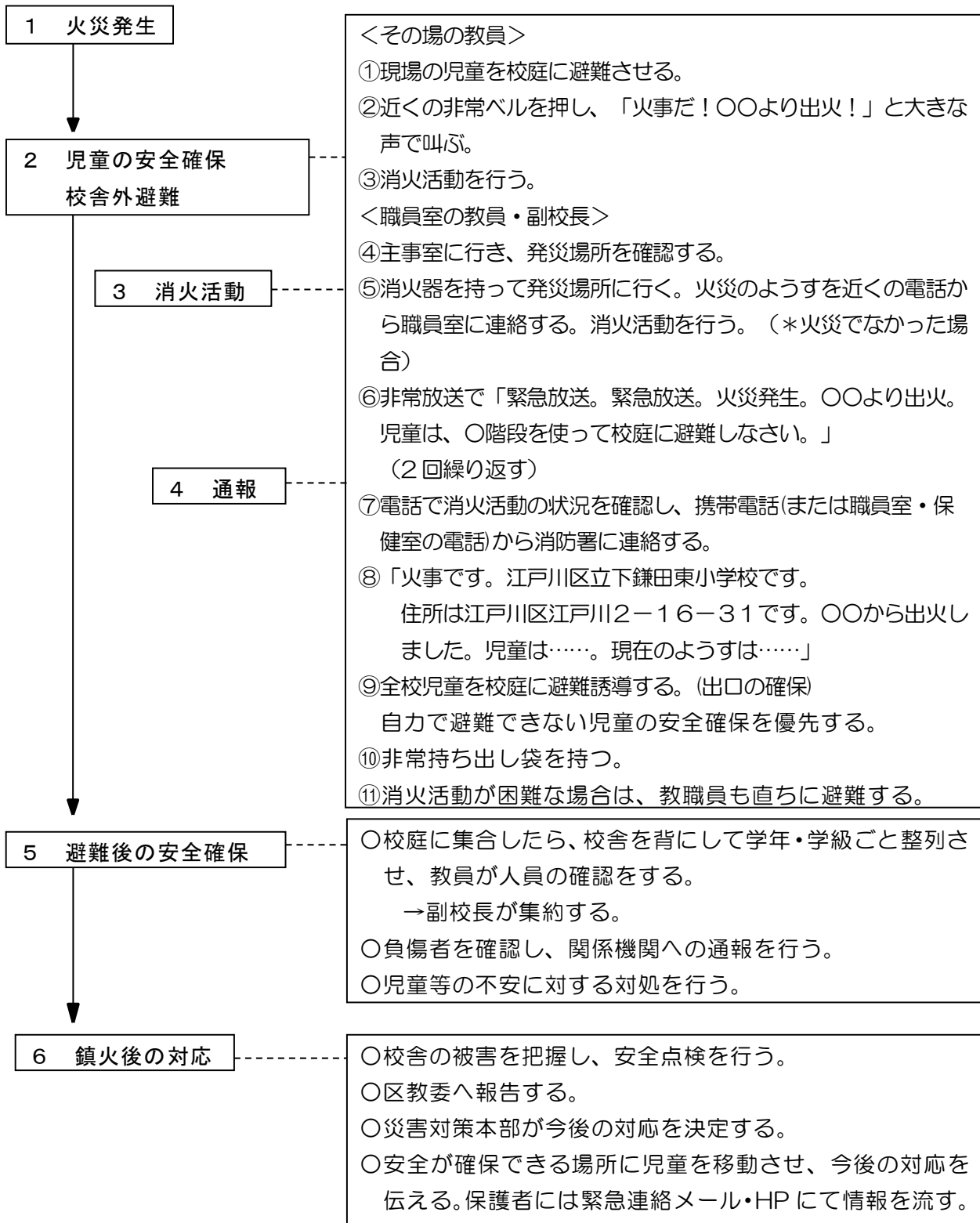


C 火災対応

火災発生時の基本的対応要領



*火災でなかった場合

非常ベルが間違っって押された場合には、主事室の警報盤横のマニュアルにより復旧作業を行う。

◎ 留意事項

0. 平常時

- (1) 毎日、「健康観察表」に始業時の出欠状況や、遅刻・早退の状況を記入し、養護教諭が確認のうえ、管理職に報告する。

■授業中（教員が指導している時）… 教員は生徒に適切な指示を与え、避難させる。

1. 避難前

- (1) 緊急放送を良く聞き、避難経路を判断する。
- (2) 防災頭巾（ヘルメット）をかぶり、頭部を守るように指示する。
- (3) 窓を閉める。
- (4) 児童を廊下に出し、2列に並ばせる。

2. 避難中

- (1) ハンカチを口に当て、姿勢を低くし、「お（おさない）、か（かけない）、し（しゃべらない）、も（もどらない）」を守らせて移動させる。
- (2) 階段を降りるときは、階段の両側を使って歩く。（待たせない）
- (3) 最後のクラスが避難したら、担当者が防火扉を閉める。

3. 人員確認

- (1) 校舎を背にして（火を見せない）、クラスごとに並ばせる。
* 少人数指導の場合もクラスごとに並ばせる。
- (2) 担任が、児童の肩を叩いて点呼を行い、その場にしゃがませる。（専科等の場合は避難場所で担任に引き渡す。）
- (3) 担任は、次のように副校長に報告する。
「〇年〇組、出席〇名、欠席〇名、異常なし・あり（〇〇が不明）」
* 「欠席」とは、その時点での不在児童のこと。（欠席・早退・遅刻・公欠を含む）
<避難完了>
- (4) 担任がクラスにつく。
- (5) 不明児童がいた場合は副校長の指示の下、担当を決めて探しに戻る。

■休み時間等（教員が指導していない時）… 児童は自主的に判断して、避難を行う。

1. 避難前

- (1) 緊急放送を良く聞く。出火場所を聞き取り、避難経路を判断する。
- (2) 教室にいた場合は防災頭巾をかぶる。廊下等にいた場合は近くの教室の防災頭巾等をかぶる。

2. 避難中

- (1) ハンカチを口に当て、姿勢を低くし、「お（おさない）、か（かけない）、し（しゃべらない）、も（もどらない）」を守って、安全な避難経路を通して移動する。

3. 人員確認

- (1) 校舎を背にして、クラスごとに出席番号順に並ぶ。
- (2) 教員の指示に従って、待機する。